あなたのそばに手をつなぐ育成会

一般社団法人栃木県手をつなぐ育成会 会長 小島 幸子

いつも栃木県の育成会を応援していただきありがとうございます。

今回は8050世帯のことをお話したいと思います。

障害のある息子さんは、ある病気で定期的に医療機関に通院しています。ご両親ともに80代後半、息子さんは50代後半です。息子さんは、病気のこともあり障害福祉サービスを利用していませんでした。ご両親も元気ですので介護保険は利用していませんでした。しかし、年齢のこともありその街の育成会の役員は、街の地域包括支援センターに繋がることをおすすめしていました。

ご両親は「まだ、大丈夫だから」とおっしゃっていました。ご家族で助け合いながら暮らしていました。昨年、お母さんが病気でお亡くなりになり、お父さんと息子さんの二人暮らしが始まりました。あるきっかけで街の地域包括支援センターと繋がること出来たのですが、その矢先にお父さんが入院することに。息子さんの明日からの暮らしをどうしようと心配したのですが、地域包括から障害者の相談支援センターに繋がり、息子さんは緊急でグループホームに入ることが出来ました。

この間、親の会の役員が家庭訪問したり、地域包括と情報交換して下さいました。

やはり、近所で顔が見える関係の育成会活動が大切だとしみじみと感じました。

私たちの活動に共感いただける方は、ぜひともお近くの育成会にお尋ね下さい。

よろしく願いいたします。